

法人理念		重症児者の輝く笑顔で地域と未来をつなぐ		支援方針	*どんな障がいがあっても 地域で当たり前前生活を *子ども達の「生きる力を育む」 ～ 心も身体もその子らしく ～
営業時間	児童発達支援	10:00 ~ 16:00		主な行事等	送迎の有無
	放課後等 ディサービス	授業日 放課後 ~ 17:00	お休みの日 10:00 ~ 16:00		あり
支援内容 (一例です)					
本人支援	健康・生活	○健康状態の管理・維持 ○生活習慣、生活リズムの確立、基本的な生活スキルの獲得 ○リハビリテーション →検温、脈拍・血中酸素計測 →スケジュール、食事(栄養)、歯磨き、入浴、トイレ →装具(コルセット、手、脚(足))、マッサージ			
	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の基本的な技能の向上 ○姿勢保持と運動・動作の補助手段 ○身体の移動能力の向上、保有する感覚、代行手段 →上肢・下肢・関節周りなどの拘縮予防 →装具の装着、様々な姿勢で過ごす →四つ這い、装具での歩行、歩行器、ブロンボード ふれあい体操、ラジオ体操、ダンス、温冷などの感覚遊び、散歩、園芸(花・野菜)			
	認知・行動	○感覚や認知の活用 ○認知や行動の手がかりとなる概念の形成 ○認知の偏りへの対応 ○行動傷害への予防及び対応 →朝の会・帰りの会(名前呼び)、個別に口頭やホワイトボードで説明、こだわりに対して折り合いをつける、ごっこ遊び、パズル、型はめ、 買い物、感覚遊び、スヌーズレン			
	言語 コミュニケーション	○言語の形成と活用、受容言語と表出言語の支援、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得、指差し、身振り、サイン等の活用、 読み書き能力の向上のための支援、コミュニケーション機器の活用、手話、音声、文字の活用 →一人ひとりへの言葉かけ、絵カード、顔写真カード、単語や会話の口真似、朝の歌、帰りの歌、目標発表、スタッフが間に入ってのお友達との やりとり、ICT活用(iPad・外部スイッチなどのアクセシビリティ、ネコミミ(necomimi)脳波で鳴き声や耳が動きます)			
	人間関係・社会性	○アタッチメントの形成、模倣行動の支援、感覚運動遊びから象徴遊びへの支援、一人遊びから共同遊びへの支援、自己の理解、集団への参加支援 →あいさつ、返事、個別療育、集団療育、ものの貸し借り、家族のバースデーカード作り、音楽遊び(ボディパーカッション・ハンドベル)、野外活動・ 地域交流(公園、ハロウィン、真鍋庭園、十勝ヒルズなど)			
家族支援	○ピリナ～絆～の会(保護者会) ○運動会・発表会にて、きょうだい児の交流 ○困りごとは、都度一緒に考えています		移行支援	○リハビリの切り替え(卒園、就学、中・高校、生活 介護への支援引き継ぎ) ○併用している事業所間の支援内容共有 ○地域のお祭り等への参加	
地域支援・地域連携	○真鍋庭園や十勝ヒルズにて、スタッフさんと交流や行事に参加 ○お隣のコンビニ(セーコマートさん)にハロウィンの協力依頼 ○事業所内の行事(外部コンサート)など広く周知し来所の機会あり ○市の子育て課と連携し、地域の保育所や小学校との交流を目指す		職員の質の向上	○事業所内研修:BCP、避難訓練、感染症対策など ○ケース会議:利用児情報の共有(更新内容は都度) ○療育プログラムの共有 ○OJTの実施、支援方法は都度専門職からレクチャー	